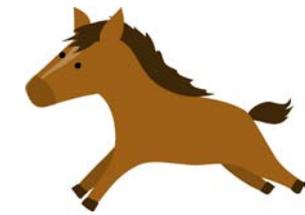


# 百歳元気プロジェクト推進ニュース

VOL. 7 (2014. 1 月)

J A 宮城中央会営農農政部



## 今年も百歳プロ飛躍の年に！



新年あけましておめでとうございます。

昨年「百歳元気プロジェクト」を本格始動させ、女性部のみなさん、助けあい組織のみなさんに協力をいただきながら、積極的に展開することができました。ありがとうございました。

今年は昨年にも増してメニューを充実させるとともに、引き続き体操などの普及を図っていきたく思いますので、よろしくお願い申し上げます。

## H25JA理事研修で “百歳元気にこにこ体操” 実践！！



昨年の12月に開催された第2回、第3回のJA理事研修において、百歳元気プロジェクトを紹介。参加した理事のみなさんに、百歳元気にこにこ体操も体験していただきました。

仙台大学の岩垂先生に指導をしていただき、男性理事にも体操を受け入れてもらえるか不安はありましたが、筋肉の衰え方とその影響などの説明も合わせて行い、興味を持って聞いてもらうことができました。



プロジェクトが、JA全体の取り組みとなるよう、また、JAの新たなファンづくりに結びつくよう、理事のみなさんへ理解・協力を求めるよい機会となりました。これを契機に、さらなる普及推進に取り組みます！

## 広がる“百歳元気にこにこ体操”の輪



11月30日に開催された「健康の集い」では、参加者150名が、12月9日に

JAいしのみきで開催された「女性部合同研修会」では、各支部の支部長ら50名が実践しました。

県の行事等で実践し、その楽しさを自分のJAにも広めたいと、仙台大学へのオファーが殺到しています。来年度からも積極的に行事などへの活用をお願いしたいですし、取り組んでみての感想や、「ここが難しかった」「もっとこうした方がよいのでは？」という意見もお待ちしています。

# 「認知症サミット」英で初開催

高齢化に伴う認知症の人の増加を世界共通の課題と捉えて国際的な対策を進めようと、初の「主要国（G8）認知症サミット」が昨年の12月11日、ロンドンで開かれました。2025年までに治療法などを特定することを目指し、各国共同で研究費を大幅に増やすことで合意されました。共同声明には、認知症対策の技術開発や研究を進めるための基金創設を検討する方針も盛り込まれました。

「国際アルツハイマー病協会」の推計では、認知症の人は現在、4400万人。この数は、2050年までには3倍の1億3500万人に達するとみられています。中でも多いのは東アジア。2050年には世界の患者の4人に1人が、この地域に集中することになります。

開催にあたって英のキャメロン首相は、「認知症を克服するためには、がんやエイズと同じように世界の重要課題だと認識し、各国、産業界、科学者たちが協力していかなければならない」と強調しました。

今回のサミットでは、世界で最も高齢化が進む日本の取り組みにも注目が集まりました。

日本国内の認知症の高齢者は、厚生労働省の研究班の推計で一昨年462万人に上り、高齢者の15%に達するとされています。

認知症の高齢者の急増を受けて厚生労働省は去年、対策の5か年計画「オレンジプラン」を初めて策定し、認知症になってもできるかぎり住み慣れた地域で暮らし続けられることを目指しています。

対策の柱となるのが早期に診断し治療につなげるとともに、認知症の人や家族に必要な支援を行う「早期診断・早期対応」です。そのため看護師や作業療法士などの専門職による「初期集中支援チーム」を新しく作り、高齢者の自宅を訪問して認知症の疑いがあれば専門の医療機関を紹介するとともに、認知症の症状への対処のしかたをアドバイスするなど家族への支援も行うとしています。 【参考： [NHK NEWSWEB](#) 】

## トピック

仙台放送が制作した長編ドキュメンタリー映画『僕がジョンと呼ばれるまで（原題：Do You Know What My Name Is?）』が、今年4月にアメリカ・パームスプリングスで開催された「アメリカンドキュメンタリー映画祭」で日本映画で初の「観客賞（外国作品）」に輝きました！

本作品は、「脳トレ」で有名な東北大学加齢医学研究所・川島隆太教授が開発した認知症改善プログラムの海外初の実証研究を、仙台放送が1年にわたり密着取材した内容を83分の長編ドキュメンタリーにまとめたものです。超高齢化社会に向かう世界に向けた感動と希望のドキュメンタリー。

日本公開は2014年春から、全国順次公開予定です。（宮城では「フォーラム仙台」で公開予定です！）

